

通知の発送を実施している。

近隣殆どの市が実施している差額通知は何故実施しないのか？補助金があるが補助割合は？

答) 平成26年度を目処に開始したい。東京都の補助金は通知書作成費、郵送費含め全額出る。遅すぎる。早急に関係団体との協議を求めたい。市長) なるべく早く協議を行って参りたい。

これら目的は次世代に皆保険制度を受継ぐ事と考える。「安いから」だけで無く、未来に対する貢献であると言ったアピールもお願いしたい。次に生活保護受給者の自立支援について。自立に至った等、国分寺市の現状を教えてください。

答) 昨年4月から半年で6世帯が自立に至った。困い屋と呼ばれる貧困ビジネスの存在が指摘されているが、市内の現状は把握されているか？

答) 市内に数カ所宿泊施設があるが、貧困ビジネスに利用されていないか運営を注視している。生活保護者のギャンブル依存症対策について、国分寺市として対策は講じているか？

答) 精神疾患であるギャンブル依存症は健康推進課での相談、NPO法人の紹介等を行っている。ギャンブルで得た収入は申告義務があるが、実態の把握は困難。またギャンブルが原因で生活保護受給に至ったケースも想定できる。生活保護制度の性格上、生活保護を受給してのギャンブルは一切禁止にすべきと考えるがどうか？

答) 最低限の生活を保障する事が市の姿勢である。ギャンブル等に保護費を充てる事に関しては厳しく指導して行きたい。

「財政の見える化」に向け市の公会計改革を



公明党 木島 たかし

1・公共施設老朽化の防災・減災対策は急務だ

木島) 施設の長寿命化を図ることが費用負担の軽減にもなる。特に学校施設は優先すべき。その上で、①25年度以降実施予定の学校の大規模改修の確実な実施②その際、体育館の天井材等の劣化診断調査を行い非構造部材の耐震化を部長) 学校大規模改修は計画に沿って進めたい。非構造部材の点検も実施する方向で検討する。

2・避難訓練を積み重ね、万全な防災対策を

木島) 初実施となった宿泊型訓練は貴重な機会だ。地区防災センターの各校で実施すべきだ。部長) 訓練の総括を行ったうえで判断したい。

木島) ①鉄道事業者(国分寺駅、西国分寺駅)と帰宅困難者訓練の実施を ②要援護者の二次避難所への移動訓練を事業者と実施すべき。

3・通学路の安全対策を着実に講じるべき

木島) 教育委員会、道路管理課、PTA、警察による緊急合同点検の結果と今後の対応は。部長) 危険と判断したのは50箇所。内、簡易的な6箇所は対応した。他は今後対応を検討。また道路整備のみならず、自転車や車のドライバーへのマナーアップ啓発の必要性も感じている。

木島) 予算の関係で長年進まなかった危険箇所も国の交付金等を活用し整備の促進を。部長) 情報収集し検討したい。

木島) 4・公会計制度改革で「財政の見える化」を財政健全化と市民への説明責任に立脚すれば、現行の単式簿記・現金主義会計に加えて複式簿記・発生主義会計の視点が重要だ。

市長) 財政の実態を把握するうえで、現在の会計制度を補完するものとして重要だと認識している。他団体に足並みを揃えつつ進めたい。

木島) 指定管理等の民間委託へ流れが進む中、職員も複式簿記の理解が必要。研修を行うべき。部長) どうすれば力がつくか方法を検討したい。

5・予算編成はコスト意識の徹底を

木島) 無駄削減のため、将来負担(ライフサイクルコスト)を強く意識した予算編成を。

部長) その趣旨に近づけるよう努力したい。

軌道を外れた財政の負の因果を直すために



政策市民会議国分寺 三葛 敦志

【1. 財政の見直しについて】

Q. 来年度の税収見直しは？

A. 今年度並みかやや下回る程度。

Q. 基金は尽きかけている。ごみ有料化の収入(年1.5億円)は一般会計にせよ。

A. 副市長：特定目的基金にしたい。

Q. 市民サービスを削る際には、その前に情報公開・市民説明を強く求める。

A. 予算編成は時間の制約があり、難しい。

【2. 自転車駐車場整備のあり方について】

Q. お店等は、自前での整備が当たり前。財政難なのに、なぜ駅前だと市が整備するのか。

A. 事業者による土地の確保が難しい。放置自転車問題もあるため、市が関わることになる。

Q. 駅から離れたところにすればいい。毎日商店街を歩くようにすれば商店街にもプラスだ。

A. …検討はしてみたい。

【3. エキナカへの対応について】

Q. 9月に西国分寺駅にエキナカ「ののわ」が開業。観光・経済活性化につながったか。

A. 商店街の売上げに結び付いてはいない。

み. 中央線高架化に伴うまちづくりに市は積極的に関わらすべきだ。

【4. 子どもの虐待を防ぐために】

Q. 府中市子ども家庭支援センター「たち」を視察。当市でも利用しやすいようにすべき。

A. 年間利用者の35%が西町・光町と偏っているのが課題だが、市の東側への新設は難しい。

Q. 週4程度だけの営業日は増やすべきだ。

A. 民間の関わり方を研究したい。

Q. 関係機関の連携・役割分担に課題はないか。

A. それぞれの役割分担がなかなか難しい。

Q. 子ども家庭支援センターに愛称を。

A. 前向きに検討したい。

【5. まちの歴史を振り返るために】

Q. 西元町一丁目の国分寺公園に第二次大戦の慰霊碑があるが、市はどう認識しているか。

A. 忠魂碑・戦役記念碑と同じ場所にあり、行政として積極的に関わりにくい。

み. 公が建てたもの。存在の事実の記載を。

地域福祉は生きるための支援自殺対策の一環



政策市民会議国分寺 皆川 りうこ

PDCAの視点で「枠配分」制度の見直しを

皆) 予算の抑制、公共サービスの効率的供給、政策の優先順位の明確化を目的とした予算編成の手法「枠配分」導入から7年経過。運用上課題もあり見直す時期が来ているのではないか。政策部長) 従来通りでは限界。再考の余地あり。皆) H25予算編成における財源不足の解決法は

政策部長) 再精査を指示している。枠配分も厳しい。最終的な未達成分は総括的に判断する。

皆) 決算特別委員会中に事務事業評価シートの記載ミスが判明し再提出された。今後の対策は？

政策部長) 人為的ミス。再確認を通知する。

改正介護保険制度に関する課題と解決に向けて皆) サービス時間の短縮、抑制により、家事援助サービスが使いづらい現状だ。ヘルパーは、利用者の精神面のフォローはできない。また、一日に何件も訪問するため、利用者の記録等の実態報告記載は時間外。現場での問題、声を市として把握し受け止め、国や都にも伝えよ。

福祉保健部長) ケアマネ連絡会、サービス提供世話人会など様々意見を頂く。真摯に受け止め利用者、事業者へ丁寧に対応していきたい。

地域の活動を有機的にリンクさせる地域福祉を皆) 事業者、利用者は法令順守で介護保険制度を利用する。制度では不十分な利用者、地域福祉の視点で市としてサービスの提供に努めよ。

福祉保健部長) 各部との連携、様々な需要に対して社会・福祉資源を活用し仕組みを考えたい。

皆) 市の事業の生活支援ヘルパー事業をPRせよ。福祉保健部長) 日常生活に支障のある方にとって必要な事業だ。利用しやすいよう周知したい。

皆) 地域の高齢者や親子ひろば利用者等と、学校給食を一緒に食べることにより顔の見える環境づくりも地域福祉として重要。実施検討を。

教育長) 教育的にも大変意味がある。

地域福祉、自殺対策、生きるための支援

皆) 大上段に構えず地域福祉は自殺対策の一環と捉えよ。生きるための支援の必要性等訴える全国市長会の自殺対策決議についての見解は？

市長) 自治体としても対応を図ることが重要だ。

陳情の審議結果

第4回定例会では陳情3件が提出され継続中の7件と併せて審議した結果、採択1件、不採択4件、継続4件、審議未了1件となりました。

《採択となった陳情》

陳情第24-14号「市立小・中学校、市役所などの市の施設の屋上に、再生可能エネルギー設備の設置を求める陳情」

《不採択となった陳情》

陳情第24-3号「ぶんバスの収支均衡型運営を求める陳情」

陳情第24-11号「大気汚染調査は従来どおり年2回実施することを求める陳情」

陳情第24-18号「国分寺市生きがいセンター入浴施設利用の再開を求める陳情」

陳情第24-20号「国分寺駅北口再開発事業の見直しを求める陳情」

《継続となった陳情》

陳情第24-10号「西国分寺駅から東恋ヶ窪交差点まで府中街道にぶんバス路線を求める陳情」

陳情第24-19号「建設業従事者のアスベスト被害者の早期救済・解決を図るよう国に働きかける意見書の提出を求める陳情」

陳情第24-21号「市民の公民館の利用を有料にしないでくださいについての陳情」

陳情第24-22号「米軍垂直離着陸輸送機MV 22 オスプレイの配備と低空飛行訓練に関する意見書の提出を求める陳情」

《審議未了となった陳情》

陳情第24-15号「原発問題に関する陳情」